

事務事業名 豊岡土地改良区運営補助事業

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策:01 農林水産業の振興

部名:経済環境部

課名:農林水産課

基本事業:06 農業基盤整備の推進

計画年度	平成13年度	～	平成23年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
豊岡土地改良区 受益対象農地				平成21年度実績 運営費補助金 1,500千円				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
豊岡土地改良区の適正な運用が行なわれる。								
4 活動指標・成果指標・事業費の推移								
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	補助金交付額			千円	1,800	1,500	1,800	-
活動指標								
成果指標	組合員数			人	250	250	250	-
成果指標								
事業費				千円	1,800	1,500	1,200	
うち一般財源				千円	1,800	1,500	1,200	
5 目的妥当性								
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				基幹産業である農業基盤の整備を実施しており、事業を円滑に進める上で必要である。				
6 上位の基本事業への貢献度								
○ 貢献度大きい（理由→） ● 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ○ 基礎的事務事業				農業生産の向上を図るための整備事業としては貢献度が大きいと考えられるが、運営補助的な部分のため。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討								
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				対象エリアが定められているため、見直しは困難				
8 有効性（成果状況）								
○ あがっている ● どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				事業が完了間近いため成果は順調である。				
9 有効性（成果向上余地）								
○ 成果向上余地・大 ● 成果向上余地・中 ○ 成果向上余地・小・無し								
10 事業の再編成								
○ 類似の事業があり、再編成できる ○ 類似の事業はあるが、再編成できない ● 類似の事業はない				対象エリアが定められているため、再編成は困難				
11 効率性（コスト削減の方法）								
● ある ○ ない				改良区の活動内容を精査しコスト縮減を図る				